

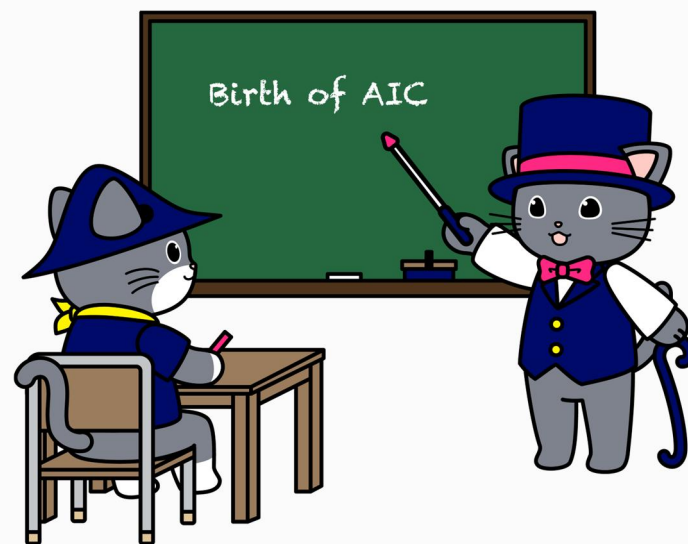
総合研究大学院大学先端学術院 統計科学コース

大学院説明会 プログラム



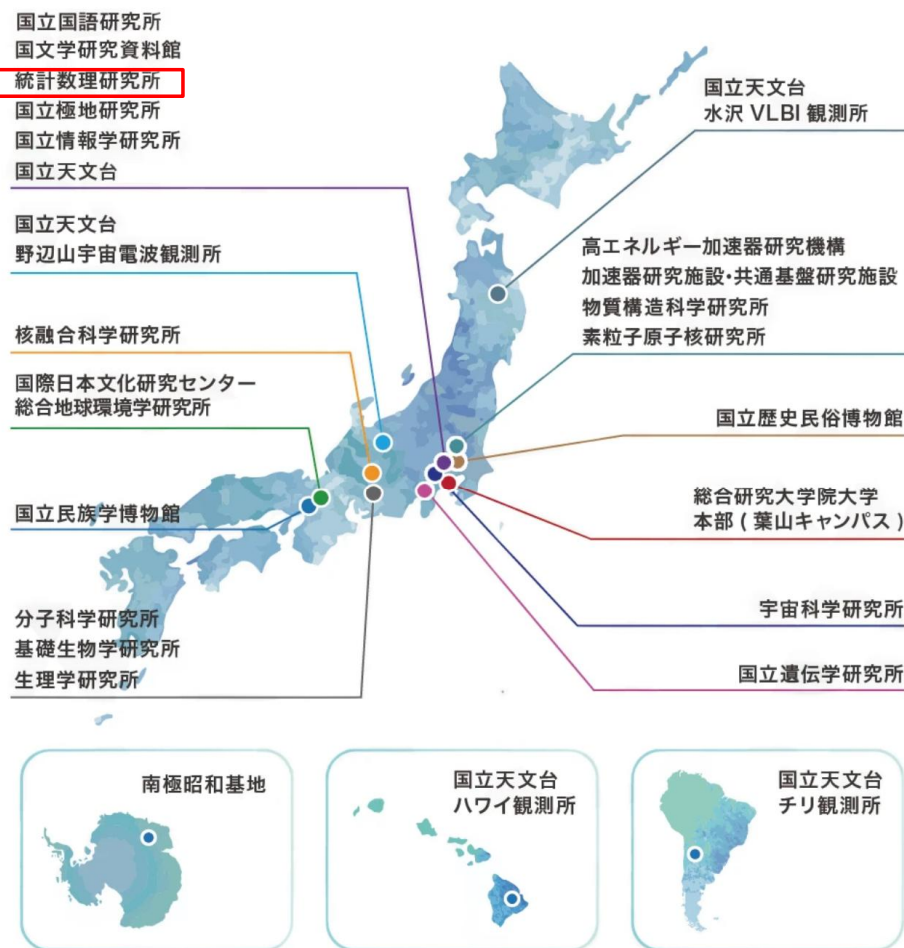
日 時 2025年5月23日(金) 10:00～12:00

- 1 統計科学コース・統計数理研究所の概要
- 2 教育・学生生活について
- 3 入試について
- 4 教員マッチングについて
- 5 在校生講演
- 6 修了生講演



1 統計科学コース・統計数理研究所 の概要

総合研究大学院大学(総研大)



- 昭和63年, 全国の大学共同利用機関を基盤機関として創設
当初は2研究科8専攻でスタート
* 統計科学専攻は発足当初から参画
- 平成16年, 法人化を機に再編
6研究科20専攻体制. 本部: 神奈川県葉山
文化科学研究科
物理科学研究科
高エネルギー加速器科学研究科
複合科学研究科
生命科学研究科
先端科学研究科
- 令和5年, 一研究科20コースに改編
先端学術院 統計科学コースとして
学生へ教育指導を行う
- 総合研究大学院大学の特色
全国初の独立大学院大学
①5年一貫制博士課程 と
②博士後期課程 の併設

統計数理研究所(統数研)

設置目的

「統計数理科学に関する総合研究」

沿革

- 1944年:文部省直轄の研究所として設立
- 1953年:日本人の国民性調査開始
- 1985年:大学共同利用機関に改組転換
- 1988年:総合研究大学院大学創設に参画
- 2004年:法人化, 機構化
(大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構)
- 2005年: NOE事業開始
- 2009年:立川移転
- 2010年:赤池ゲストハウス設立
- 2011年:統計思考力育成事業開始
- 2014年:URA(*)配置
- 2019年:6月5日 75周年記念式典
- 2021年:統計エキスパート人材育成プロジェクト開始
- 2024年:基幹研究系改組

主要活動

○ 研究活動

- ・我が国における統計数理科学の中核拠点
- ・NOE (Network Of Excellence) 形成事業
- ・先端的な研究を推進

○ 共同利用

- ・多様な分野との共同研究
- ・スパコン, ソフトウェア, 乱数

○ 人材育成

- ・総研大における大学院教育
- ・統計思考力育成事業
- ・統計エキスパート人材育成プロジェクト

統計科学コースにおける教育

■ 令和7年度

統計科学コース長 吉本 敦

統計科学コース

- 入学定員8名
(5年一貫制 2名、博士後期課程 6名)
- 現在籍数 34名
(5年一貫制 5名、博士後期課程 29名)

うち社会人学生は20名以上
(フルタイム学生の2倍以上)

- 学位授与者数: 令和7年3月までに174名



オープンハウス2013(平成25年6月14日開催)
における博士百人記念講演会

平成24年度末までで統計科博士取得者が
100人を超えたことを記念して実施

★ 統計科学コースの人材育成目的

現実社会からの情報ないし知識の抽出を、データに基づいて実現するために、データ収集の設計、モデリング、推論、予測およびこれらの基礎、数理、応用に係わる教育研究を行い、複雑に相互に絡み合うさまざまな重要課題の解決に貢献する創造性豊かな研究能力を備えた人材の育成を目的とします。

★ 統計科学コースの教育研究の特色

- 我が国の数少ない統計科学の総合的な博士課程であり、これまで幅広い学問分野から学生諸君を受け入れています。理論から応用までの多分野にわたる専門の教員により、統計科学全般についての教育研究を行っています。
- 基盤機関である統計数理研究所には統計科学専用スーパーコンピュータが設置されており、多様なソフトウェアも揃っています。
- 統計科学と数理科学の学術誌・図書は国際的に見ても非常に充実しています。
- 統計数理研究所では共同利用研究所として研究会や国内外の客員教授・研究者のセミナーが頻繁に行われており、これらの多くに自由に参加して交流できます。
- 他大学や他研究機関の研究者たちとの共同研究、および他研究所などとの研究プロジェクトに参画し、各課題研究の一翼を担うこともできます。

2 教育・学生生活について

教育研究指導分野

◆先端データサイエンス(研究系)

統計的機械学習研究センター、
マテリアルズインフォマティクス研究推進センター

◆統計基盤数理(研究系)

統計モデル研究グループ、統計的意思決定研究グループ

◆学際統計数理(研究系)

人文学・社会科学研究グループ、生物・医学・環境科学研究グループ、
理工学・情報学研究グループ

この中から主任指導教員を選び、
他大学にはない多種多様な指導を受けられる

授業科目

◆基礎科目

統計科学基礎、時空間モデリング基礎、多変量解析基礎、
確率と確率過程基礎、数理統計基礎、計算数理基礎、
統計的機械学習基礎、計算推論基礎

◆専門科目

各教員が自身の専門をもとに開講したもの

◆全学系科目

フレッシュマンコースなど

* 他コースの授業を履修することも可能

博士の学位取得のために

◆学位の種類: 博士(統計科学)、博士(学術)

◆修了要件: 主目的は数理の専門家の養成

【5年一貫制】

- ・5年以上在学
- ・42単位以上修得

(うち20単位は研究指導)

【博士後期課程】

- ・3年以上在学
- ・16単位以上修得

(うち12単位は研究指導)

(注) どちらの課程も年限短縮可、単位認定制度あり

・必要な研究指導を受けること

・博士論文の審査及び最終試験に合格すること

学術雑誌への論文採択が必要なため、研究スケジュールに注意

サポート体制

◆SOKENDAI特別研究員制度

学術研究及び科学技術・イノベーションに貢献する人材を育成するために、本学の博士後期課程相当に在籍する学生を特別研究員として採用し、**経済的な支援(研究奨励費の支給)**を行うとともに、研究やキャリアについて幅広い視野を身に付けてもらうことを目的とする制度。

- ・研究奨励費.....月額19万円(一般枠)、月額30万円(次世代AI研究者枠)
- ・研究費.....年額30万円(次世代AI研究者枠のみ)

◆SOKENDAI研究派遣プログラム

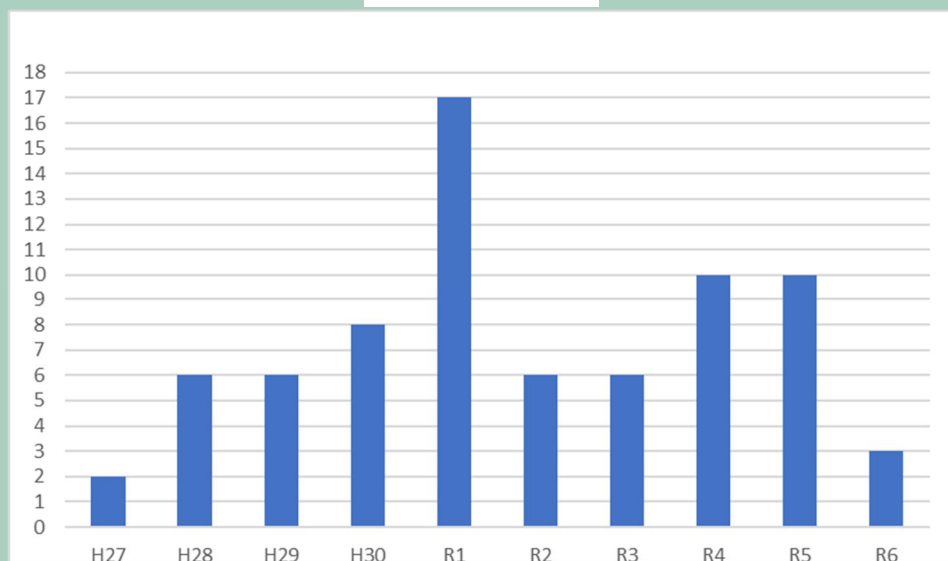
「高い専門性」「広い視野」「国際的な通用性」を持つ研究者人材の育成を推進するため、海外での短期の研究活動や、将来のキャリア構築につながる国内外での長期の共同研究等に必要な経費を支援する制度。

サポート体制

- ◆リサーチ・アシスタント(RA)
- ◆入学時PC貸与
- ◆学生研究費の配分(指導教員への配分)
- ◆その他経済的支援
授業料免除、民間財団奨学金、日本学生支援機構奨学金など
- ◆主任指導教員(1名)・副指導教員(1名～)からの研究指導
- ◆学生研究室の利用
- ◆メンタルヘルスカウンセリング など

入学者数・出身大学／専攻

入学者数



学生のバックグラウンドは様々
統計科学は多種多様な分野で
ニーズがある

出身大学

北海道大、東北大、お茶の水女子大、政策研究大学院大、東京医科歯科大、東京学芸大、東京工業大、東京大、東京農工大、一橋大、名古屋大、京都大、大阪大、九州大、慶應義塾大、早稲田大、北里大、中央大、東京理科大、法政大、日本大、関西大、京都産業大、立命館大、岡山理科大、久留米大、Aston Univ.、Univ. of Campinas、Univ. of Columbia、Univ. of Colorado、Univ. of Dhaka、Univ. of Hawaii、Univ. of Malaya、Ohio Univ.、Rajshahi Univ.、Stanford Univ.、Univ. of Nottingham、中国科学技術大学、東北師範大学、香港技科大学 など

出身専攻 (博士後期)

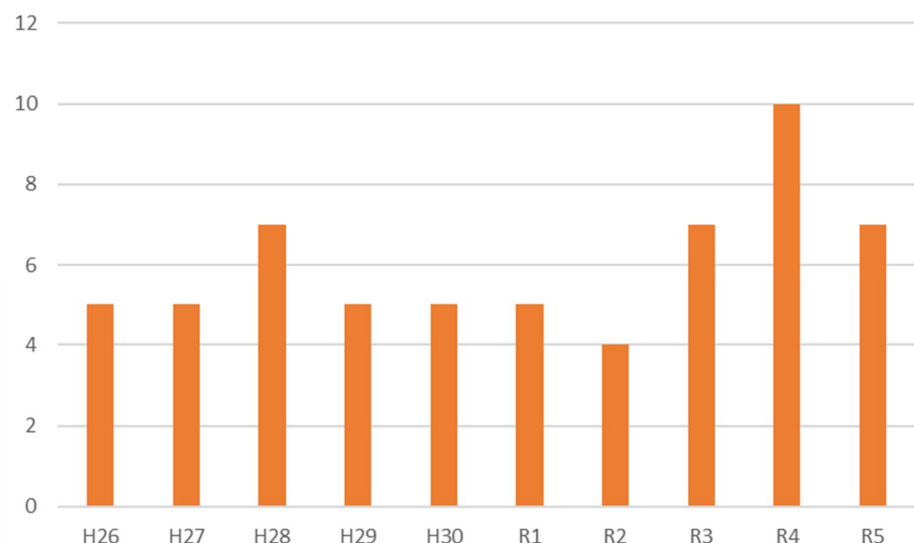
数理情報学、統計学、計数工学、多元数理科学、情報科学、医学、臨床統計学、生命科学、生態環境科学、バイオ統計学、工学、工業化学、エネルギー工学、基礎理工学、物理学、電気電子工学、物性科学、システム工学、産業機械工学、資源工学、固体地球物理、地学、水産学、経済学、経済統計、社会福祉学 など

出身専攻 (5年一貫制)

統計学、教育学、数理科学、数理情報科学、工学、理学、理工学商学、物理、生物、生命・認知科学、生命農学、製薬、人文科学 など

学位授与数・就職先等

学位授与数



国内外の研究機関・大学、民間企業にて
博士研究員やアカデミックポジションに就き活躍

主な就職先

大学, 研究所等	東京大, 電気通信大, 統計数理研究所, 筑波大, 名古屋大, 九州大, 東北大, 横浜国立大, 九州工業大, 北海道大, 東京工業大, 広島大, 千葉大, 京都大, 札幌学院大, 東京医療保健大, 明治大, 同志社大, 札幌学院大, 城西大, 日本大, 駒澤大, 愛知工科大, 東京医科大学, 理化学研究所, 日本銀行, 総務省統計局, 日本学術振興会, Jahangirnagar大, Central South大, Victoria大, Rajshahi大学, Massey大, Otaga大, Hong Kong Baptist大, UCLA, Warwick大, South Carolina大など
企業等	日立製作所中央研究所, NTTコミュニケーション科学研究所, 誠和企画, ニッセイ基礎研究所, みずほ信託銀行運用本部運用資金研究所, 協和キリン, コーセー, NEC中央研究所, ZOZONEXT, 中外製薬, ダイセル, 愛知製鋼, 日本電気, 旭化成など

3 入試について

先端学術専攻の概要

◆アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

総合研究大学院大学は、研究に対する強い興味を持ち、学問の全体を俯瞰的に捉えながら、新しい時代を切り開く研究を目指して、豊かな知性と感性を絶えず研磨し、国際的に活躍する意志と熱意を持った学生を求める。

【入学者選抜の基本的な考え方】

総合研究大学院大学は、入学者を選抜するにあたって、我が国の先端学術を牽引する大学共同利用の研究所その他の機関が担う学術分野において、自立的に研究を推進することのできる基礎学力と論理的な思考力を重視する。そのような力を適正に判定するために、それぞれの専門領域に応じた多様な選抜を実施する。

試験日程等(5年一貫制博士課程)

※夏入試のみ

	2025年10月入学 2026年4月入学
募集人員	4月入学:2名/10月入学:若干名
願書受付	2025年6月26日(木)～7月2日(水)
選抜試験	2025年8月5日(火)～8月8日(金)
合格発表	2025年9月中旬

筆記試験1日
面接試験1日

※出願資格認定審査が必要な場合は、
2025年6月2日(月)～6月5日(木)に書類を提出

試験日程等(博士後期課程)

	2025年10月入学 2026年4月入学	2026年4月入学 2026年10月入学
募集人員	4月入学:6名 10月入学:若干名	4月入学:6名 10月入学:若干名
願書受付	2025年6月26日(木)～7月2日(水)	2025年12月4日(木)～12月10日(水)
選抜試験	2025年8月5日(火)～8月8日(金)	2026年1月20日(火)～1月21日(水)
合格発表	2025年9月中旬	2026年2月下旬

面接試験1日

※出願資格認定審査が必要な場合は、
(夏入試)2025年6月2日(月)～6月5日(木)に書類を提出
(冬入試)2025年11月4日(火)～11月6日(木)に書類を提出

統計科学コース出願時の注意点 ー事前相談についてー

◆事前相談

出願書類提出前に、**志望する指導教員**と、入学後の研究計画や志望研究内容等について相談すること

5年一貫制博士課程は**強く推奨**、博士後期課程は**必須**

- * 入学時、主任指導教員を決める際の参考にします
- * 入学後の指導教員の変更は柔軟に認めています

◆希望指導教員の見つけ方

- ・コースHPの「教員の主な教育内容」などを参照
 - * 相談したい教員に電子メールで直接連絡してください
- ・大学院説明会での「教員マッチング」を活用
 - * 詳細については後ほど説明

提出書類(5年一貫制博士課程)

◆入学願書(別紙様式1-A)

◆志望理由書(別紙様式2)(2,000字程度)

- (1)大学院での志望研究内容
- (2)強調したい自分の能力や実績(統計に関する知識、データ解析の経験、プログラミング能力、研究実績等も含む)
- (3)これまでに読んだ本・科学論文や聴講した講演・講義のうち興味をもったものについての自分の考え

◆英語能力について(別紙様式13-1) 以下のいずれかを選択

(Ⅰ)TOEFL-ITP(Level1)を会場受験

(Ⅱ)出願時にTOEFL-iBTのスコアを提出

(Ⅲ)運営団体から直接TOEFL-iBTのスコアを提出

Ⅱ、Ⅲの場合、
会場における
英語筆記試験は
実施しない

◆成績証明書、他(募集要項参照)

入学試験(5年一貫制博士課程)

◆筆記試験

●数理

試験時間：2時間

出題範囲：線形代数、解析(微積分など)、確率・統計

●英語

TOEFL-ITP(Level1)

* 先述のとおり、あらかじめスコアを提出した者は会場での試験は実施せず、提出スコアにより判定する

◆面接試験

試験時間：30分以内

- ・冒頭に「志望理由と研究したいこと」について、口頭で5分程度説明いただいた後、質疑応答を行う
- ・A4用紙片面1ページまでの資料をあらかじめ配布することができる
- ・プロジェクタ等の使用はできない

(参考) 筆記試験 数理 過去問題の掲載ページ

統計科学コースHPトップページ

総合研究大学院大学
先端学術院

統計科学コース

Statistical Science Program
Graduate Institute for Advanced
Studies, SOKENDAI

トップページ

統計科学コースとは +

担当教員・担当科目 +

入学するために -

- 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）
- 入試に関する情報
- 社会人の方へ
- 入学希望者のためのQ&A

修了生の状況 +

学生生活 +

情報社会やリスク社会の
重要課題の解決に貢献する
独創性豊かな人材の育成をめざして

お知らせ

一覧

2024.05.1 **入試** 2024年度/2025年度入学者選抜募集要項の公開について

2024.04.02 **イベント** 大学院説明会（2024年度第1回）開催のお知らせ

2024.03.22 **受賞** 川島貴大さん(日野研究室)が第12回SOKENDAI賞を受賞

2024.02.01 **イベント** 2023年度学生研究発表会開催のお知らせ

2024.01.15 **論文** 公開論文発表会の開催について

2023.12.05 **受賞** 小山和輝さん(藤澤研究室)がIBIS2023「学生優秀プレゼンテーションファイナリスト」を受賞

(参考) 筆記試験過去問題の掲載ページ

入試に関する情報

総合研究大学院大学
先端学術院

統計科学コース

Statistical Science Program
Graduate Institute for Advanced
Studies, SOKENDAI

トップページ

統計科学コースとは +

担当教員・担当科目 +

入学するために +

修了生の状況 +

学生生活 +

🗺️ サイトマップ

📄 アクセス

資料請求・お問い合わせ

JP EN

入試に関する情報

入試に関する情報

大学院説明会の開催

以下の日程で「大学院説明会」を開催します。

- 【第1回】2024年5月24日（金）15:30～17:00
- 【第2回】2024年10月開催予定※詳細が決まり次第お知らせいたします

詳しくは [こちら](#) をご覧ください。

学生募集要項の配付

2024年10月/2025年4月・10月入学 学生募集要項は総合研究大学院大学のホームページに掲載されています。

[こちら](#) をご覧ください。

ホームページに掲載されているのは募集要項のみで、実際に出願をされる際は様式集（紙媒体）が必要となります。

学生募集要項（様式集）の送付（無料）を希望される方は、[問い合わせ先](#) までご連絡ください。

試験日時等の詳細は、受験票が送付される際に通知されます。

受験される皆さんへ

本コースに入学を希望される方は、本募集要項を参照し、出願書類提出前に志望する指導教員と入学後の研究計画や志望研究内容等について相談してください。

入学願書（別紙様式1）の志望指導教員欄の第2志望欄は3名まで記入してもかまいません。その場合は志望順位を教員名の左横に付してください。

入学が許可された場合、出願時にどの教員を指導教員として希望したか主任指導教員を決定する際のひとつのポイントとなりますので、十分検討してください。

アクセス支援プログラム※

統計科学コースでは、入学希望者を対象に志望する教員との面談や大学院説明会参加等のため来所する際の交通費を支援する制度があります。

○対象者：学部学生・修士学生

※東京都立川市内に自宅がある方は対象となりません

アクセス支援プログラムを希望される方は、事前に志望する教員にご相談ください。

※来所する2週間前までの申請が必要となります

過去問一覧

総合研究大学院大学
先端学術院

統計科学コース

Statistical Science Program
Graduate Institute for Advanced
Studies, SOKENDAI

トップページ

統計科学コースとは +

担当教員・担当科目 +

入学するために +

修了生の状況 +

学生生活 +

🗺️ サイトマップ

📄 アクセス

資料請求・お問い合わせ

JP EN

過去問一覧

※ 英語の試験については、平成22年度入試より、数理の試験と同日に同じ会場においてTOEFL-ITP（Level1）を利用して実施しています。

2023年10月入学第2回・2024年4月入学第1回

📄 数理

2023年4月入学第1回・2023年10月入学第1回

📄 数理

2021年10月入学第2回・2022年4月入学第1回

📄 数理

2021年4月入学第2回・2021年10月入学第1回

📄 数理

2020年10月入学第2回は実施されず

2020年4月入学第2回・2020年10月入学第1回

📄 数理

📄 注意

2019年10月入学第2回・2020年4月入学第1回

📄 数理

2019（平成31）年4月入学第2回・2019年10月入学第1回

📄 数理

2018（平成30）年10月入学第2回・2019（平成31）年4月入学第1回

📄 数理

2018（平成30）年4月入学第2回・2018（平成30）年10月入学第1回

📄 数理

📄 注意

2017（平成29）年10月入学・2018（平成30）年4月入学第1回

📄 数理

2017（平成29）年4月入学第2回は実施せず。

2016（平成28）年10月入学・2017（平成29）年4月入学第1回

📄 数理

2016（平成28）年4月入学第2回は実施せず。

2015（平成27）年10月入学・2016（平成28）年4月入学第1回

📄 数理

2015（平成27）年4月入学第2回

📄 数理

2014（平成26）年10月入学・2015（平成27）年4月入学第1回

📄 数理

2014（平成26）年4月入学第2回

📄 数理

2013（平成25）年10月入学・2014（平成26）年4月入学第1回

📄 数理

2013（平成25）年4月入学第2回

📄 数理（PDF：84KB）

2012（平成24）年10月入学・2013（平成25）年4月入学第1回

(参考)TOEFLについて



TOEFL ITP®テストとは

● TOEFL ITPテストとは ● テスト構成 ● テスト内容 ● スコアとCEFRのレベル

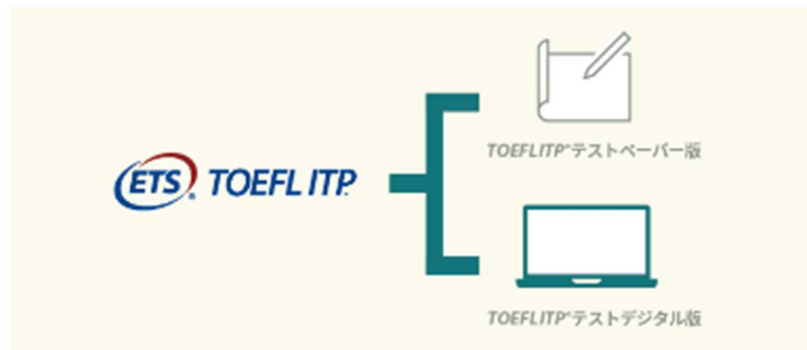
TOEFL ITP®テストとは

TOEFL ITP®テストは、世界最大規模のテスト開発機関ETS (E1) により作成・提供される国際英検テストプログラムです。TOEFL®テストは1950年代に実施されて以来、世界で最も信頼のあるアカデミックテストとして評価を受けてきました。TOEFL ITP®テストは、ペーパー版TOEFL®テスト (TOEFL® PBTテスト) (※2) のために制作された数多くのテスト問題を基に、グローバルスタンダードによる評価測定を適切に数値化を行うことができます。

(※1) ETSは米国ジョージア州に本部を置く世界最大規模のテスト開発・リサーチ機関

(※2) ペーパー版TOEFL®テスト：公式TOEFL®テストは、当サイトペーパー版 (TOEFL® PBTテスト) として開発され、その他コンピューター版 (TOEFL® CBTテスト) を経て現在はインターネット版 (TOEFL ITP®テスト) の形式で行われている。

TOEFL ITP®テストは、マークシート形式のペーパー版、インターネット環境可能なPCを使用したデジタル版の2種類があります。



テスト構成

TOEFL ITP®テストは、多肢選択式のテストで、Level 1、Level 2の2つのレベルがあります。Level 2は時間を短縮し、問題の難易度を下げて作成されています。問題の内容はすべてアカデミックコンテンツ (学校で学ぶ際に出てくる内容やトピック) で構成されており、Level 1、Level 2とも3つのセクションに分かれています。

Level	セクション	問題数	解答時間	スコアの範囲
Level 1	Listening Comprehension	50	約35分	31 - 68
	Structure and Written Expression	40	25分	31 - 68
	Reading Comprehension	50	55分	31 - 67
	TOTAL	140	約115分	310 - 677
Level 2	Listening Comprehension	30	約22分	20 - 50
	Structure and Written Expression	25	17分	20 - 50
	Reading and Vocabulary	40	31分	20 - 50
	TOTAL	95	約70分	200 - 500

テスト内容

Section1:Listening Comprehension

北米で話されている標準的な英語を聞き取り、内容を理解する力を測定します。3つのパートに分かれており、音声は1度しか聞くことができません。質問を聞き、4つの選択肢から解答を選びます。

Level1: PartA (二人の話し手の会話)、PartB (Part Aより少し長めの会話)、PartC (短めの話)
Level2: PartA (短文)、PartB (二人の話し手の会話)、PartC (短めの話)

Section2:Structure and Written Expression

標準的な文章表現や文法の知識について測定します。前半のStructureは文中の下線部に正しい語句を補い文章を完成させる問題、後半のWritten Expressionは文章中の誤った表現を選択する問題となっています。

Section3:Reading Comprehension (Level2はReading and Vocabulary)

大学の授業で取り上げられるようなトピックを用いて、読解力を測定します。様々な分野の題材が問題として取り上げられていますが、問題を解くにあたっては、出題された分野の専門的な知識を必要とするものではありません。Level 2では、Level1と比較し、やや平易な文章が使われており、設問も変更されています。

提出書類(博士後期課程)

- ◆入学願書(別紙様式1-B)
- ◆これまでに行った研究の要旨(別紙様式3)(2,000字程度)
- ◆研究発表活動の概要(別紙様式4)
- ◆志望研究内容(別紙様式5)(2,000字程度)
- ◆成績証明書、他(募集要項参照)

入学試験(博士後期課程)

◆面接試験

試験時間：50分以内

- ・修士論文または学術論文、研究成果、志望研究内容等を中心に行う
- ・これまでの研究成果とこれからの研究計画・志望研究内容等を中心に25分以内で説明いただいた後、25分程度で質疑応答を行う
- ・発表には、プロジェクタ、ホワイトボードを使用することができる
- ・資料をあらかじめ配布することができる(分量、様式は自由)

総合研究大学院大学 先端学術院先端学術専攻

統計科学コース

学生募集要項

2024年10月入学
2025年4月入学
2025年10月入学

総合研究大学院大学
先端学術院先端学術専攻
統計科学コース

5年一貫制博士課程
博士後期課程

学生募集要項

願書等については、「出願書類様式集」(冊子)を大学宛に請求してください。

https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/gias_guideline/application/index.html

【問合せ先】※問い合わせは志願者本人が行うこと

総合研究大学院大学 学務課学生係

住 所: 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)

電 話: 046-858-1525・1526

E-mail: gakusei@ml.soken.ac.jp

時 間: 平日 9:00~12:00 及び 13:00~17:00

必ず確認してください

問い合わせ先:
統計数理研究所
管理部 総務企画係

↓
p.19

みなさまのご入学を
お待ちしております

